

第22回 東京高輪病院 地域医療ネットワークの会を終えて

Information 地域包括ケア病床 増床のお知らせ

国際部の活動が広がっています

駅と病院の連携関係を構築 安心できる地域づくりに貢献

消化器内科医師・公的機関連携プロジェクトリーダー
渡邊 健雄



第19回 市民公開講座 開催報告

第20回 市民公開講座 開催のお知らせ

JCHO 東京高輪病院 市民公開講座

第19回

令和元年9月14日、第19回 市民公開講座を開催いたしました。
テーマは「**知っておきたい腎臓の話**」ということで、木村院長先生をはじめ5名の講演が行われました。146名の地域住民の方にご参加いただきありがとうございました。



肝腎要の腎臓のこと

日本腎臓学会
功労会員指導医
木村 健二郎



CKDって知ってる?

日本腎臓学会専門医
日本透析医学会専門医
山本 康隆



病期によって変わる
食事のポイント

管理栄養士
山口 知里



安全な透析をサポート!!

臨床工学技士
柳澤 基樹



高輪での透析ライフ

人工透析室副看護師長
新井 佳世子



次回市民講座のご案内

第20回

2019年12月14日 土

入場
無料

時間 午後2時~3時30分 会場 1階外来ホール

どなたでもご参加できます。事前の予約は必要ありませんのでお気軽にご参加ください。

・テーマ・

おしっこが
もれるように
なったら?



もれてたっていいじゃない
…… 松崎 香奈子
日本泌尿器科学会専門医
指導医



おくすり いろいろ
…… 荻野 知紀 薬剤師



最新のおむつ事情
紙おむつの構造と技術開発
…… 林 伸匡
日本製紙クレシア株式会社
ヘルスケア研究所長



さあやってみよう!
ー骨盤底筋体操ー
…… 吉田 仁美 泌尿器科外来看護師

編集
後記



今年もあと2か月余りとなってしまった。この時期にいつもお西さま参りを何時にしようかと考える。今年はいにく二の酉まで、11月8日(一の酉)、11月20日(二の酉)だ。昨年は初めて浅草西の市御本尊の鷲神社に行った。すごい活気があり威勢の良い掛声が飛び交っていた。今年も活力をもらいに行こうと思う。皆さんも是非。(医療連携・患者支援センター 飯田一郎)

病院理念

心のこもった医療を安全に提供します。

第22回 東京高輪病院 地域医療ネットワークの会を終えて 地域医療ネットワークの会への想い(ハブ病院の役目を果たす)

今年も10月25日金曜日に「第22回 東京高輪病院 地域医療ネットワークの会」を開催させていただきました。週末の金曜日診療後お忙しい中、今回も病院37施設、クリニック・医院76施設、訪問看護ステーション他施設19施設から234名という大勢の方にご参加いただき誠にありがとうございました。11月より地域包括ケア病床を増床するにあたり、第一部では木村院長より【より一層地域のために～新しい東京高輪病院の姿～】との挨拶から始まり、医師・看護より4つの講演を、第二部では賑やかに懇親会を行わせていただきました。



平成28年10月に関連病院より転勤し、医療連携・患者支援センターの一員としてこの会の責任者を3回担当させていただきました。日頃より想い描いていることは、この「地域医療ネットワークの会」は、ご紹介いただく先生方や各医療関係者の皆様と唯一様々な意見交流ができる貴重な会であり、当病院は医療機関と連携するだけではなく、このようなネットワークの会を通じてそれぞれの医療機関を繋ぐハブ的病院の役割も果たしていかなければ、地域医療に貢献することは遠いだろうということでした。ここ2年の間にご参加いただく方も100名近く増え、会場も大きくなり、その分どのような形であれば、講演内容や演者が見やすくなるのか設営についても改善の連続でした。

ご参加いただいたアンケートでは毎回様々な課題が見つかり、今後どうしたら良くなるのか病院職員が一丸となって解決に向け取り組んで参ります。まだまだ至らない会ではありますが、ご参加いただいた方より「本日の会は、良い内容だった」と言われるよう頑張ります。今後ともよろしくお願いたします。

医療連携・患者支援センター 課長補佐 飯田 一郎



Information

地域包括ケア病床 増床のお知らせ

当院は11月より地域包括ケア病棟を1棟から2棟に増やしました。これにより、急性期病床は144床、地域包括ケア病床は87床となりました。この病床機能転換の目的は、

- 1 地域からのニーズに応える
- 2 当院の急性期病床の機能を生かす

この2つです。当院はこれからも急性期機能と回復期機能(地域包括ケア病棟)の両輪で地域医療に貢献してまいります。

国際部の活動が広がっています

国際部が発足して4年が経過いたしました。医療連携・患者支援センタースタッフから見てもその活動は日々忙しく、窓口に来院される人々の国籍も様々な状況になっています。

先日10月25日に行われた第22回東京高輪病院地域医療ネットワークの会で流されていた活動報告の一部を掲載させていただきましたので是非ご覧ください。



頑張れ! 国際部!!

駅と病院の連携関係を構築 安心できる地域づくりに貢献



東京高輪病院 消化器内科医師
公的機関連携プロジェクトリーダー **渡邊 健雄**

みなさんは、見知らぬ土地でお腹が痛くなったり、息が苦しくなったりしたことはありませんか。なかなか無いでしょうが、いつも無いからこそ、突然襲ってくる病気や怪我は怖いですし、対処が難しいですよ。

駅や電車内で突然具合が悪くなったときは、駅員さんに相談したり、救急車を呼んだり、はたまた頑張ってスマートフォンで病院を探して電話をしたり、もしくは我慢したり… しかし、これでは大変です。特に、これからオリンピックで増えてくる外国人にとってはさらに困難なものになるでしょう。そんな困ったときにお役に立てるよう、私たち東京高輪病院は駅と病院との新しい連携の試みを始めました(新聞でも紹介されました)。

東京高輪病院は公的な病院としての使命を課せられた病院で、ありとあらゆるところから人が集まってくる品川駅のすぐ傍にあります。急患対応がスムーズであること、外国人診療に秀でていることが当院の強みです。以前より国際部を設立し、他院に先駆けて外国人への対応を充実させてまいりました。駅と病院をテレビ電話でつなぐことにより、病院を受診するべきかどうかの相談や救急車到着までの状況把握やアドバイス、外国人の方に対しては母国語での相談を受けるような形での駅と病院の連携関係を構築、JR東日本の本社・品川駅にご理解とご協力をいただき、連携関係を構築することができました。高輪に新駅が開業予定で、品川にはリニアがやってきます。羽田にも近く、ますます発展していく品川・高輪エリアで、多くのかたのお役に立てるよう公共交通機関・消防署と連携し、“安心して暮らせる地域づくり”を目指してまいりたいと思います。



こころに残る言葉

成功を喜ぶのはいい。
だがもっと大切なのは失敗から学ぶことだ。

ビル・ゲイツ (マイクロソフト創業者)

